



## システム管理コマンド

- [ap-type](#) (1 ページ)
- [archive](#) (2 ページ)
- [copy](#) (2 ページ)
- [delete](#) (3 ページ)
- [disable](#) (4 ページ)
- [enable](#) (4 ページ)
- [exec-timeout](#) (5 ページ)
- [logging](#) (5 ページ)
- [more](#) (6 ページ)
- [reload](#) (6 ページ)
- [terminal](#) (7 ページ)

### ap-type

AP に AP タイプを設定するには、**ap-type** コマンドを使用します。

```
ap-type {capwap | mobility-express word | workgroup-bridge}
```

#### 構文の説明

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <b>capwap</b>           | AP を CAPWAP AP タイプとして有効にします。   |
| <b>mobility-express</b> | AP を Mobility Express AP タイプとして有効にします。   |
| <i>word</i>             | TFTP 転送コマンドの詳細を次の形式で入力します。<br>tftp://<tftp-server-ip-address>/<filename with path from root> |
| <b>workgroup-bridge</b> | ワークグループブリッジ (WGB) AP タイプを有効にします。   |

#### コマンドモード

Privileged EXEC (#)

## コマンド履歴

リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

8.8.120.0 **workgroup-bridge** パラメータを追加することで、このコマンドが拡張されました。

## 例

次に、AP タイプを CAPWAP に設定する例を示します。

```
cisco-ap# ap-type capwap
```

## archive

AP イメージをダウンロードするには、**archive** コマンドを使用します。

**archive download-sw** {/no-reload | /reload | capwap word}

## 構文の説明

**download-sw** ソフトウェア ダウンロード コマンド

**/no-reload** イメージのロード後にリロードしない

**/reload** イメージのロード後にリロードする

**capwap** イメージを Cisco WLC からダウンロードする

**word** **ap image type ap3g3/ap1g4** フォーマットでイメージの詳細を入力します。

## コマンドモード

Privileged EXEC (#)

## コマンド履歴

リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

## copy

ファイルをコピーするには、**copy** コマンドを使用します。

**copy** {cores filename [scp: scp-url | tftp: tftp-url] | flash filename [scp: scp-url | tftp: tftp-url] | support-bundle [scp: scp-url | tftp: tftp-url] | syslogs [filename {scp: scp-url | tftp: tftp-url}] | scp: scp-url | tftp: tftp-url}

## 構文の説明

**cores** コア ファイルにアクションを適用する

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <i>filename</i>       | ファイルの名前   |
| <b>scp:</b>           | SCP プロトコルを使用する  |
| <i>scp-url</i>        | SCP URL は、次の形式で入力する：<br>username@A.B.C.D:[dir]/filename |
| <b>tftp:</b>          | TFTP プロトコルを使用する   |
| <i>tftp-url</i>       | TFTP URL は、次の形式で入力する：<br>A.B.C.D[/dir]/filename         |
| <b>flash</b>          | フラッシュ ファイルにアクションを適用する                                   |
| <b>support-bundle</b> | サポート バンドルをサーバにコピーする                                     |
| <b>syslogs</b>        | syslog ファイルにアクションを適用する                                  |

---

コマンドモード Privileged EXEC (#)

---

コマンド履歴

リリー 変更内容  
ス

---

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

---

## delete

ファイルを削除するには、**delete** コマンドを使用します。

**delete** {**/force** | **/recursive** | **/rf**} **cores** *filename*

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 構文の説明 | <b>/force</b> 強制削除              |
|       | <b>/recursive</b> 再帰的削除         |
|       | <b>/rf</b> 再帰的な強制削除             |
|       | <b>cores</b> コア ファイルにアクションを適用する |
|       | <i>filename</i> 削除するファイル名       |

---

コマンドモード Privileged EXEC (#)

|        |                           |
|--------|---------------------------|
| コマンド履歴 | リリー 変更内容<br>ス             |
|        | 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。 |

**例**

次に、ファイルを削除する例を示します。

```
cisco-ap# delete /rf cores file-name
```

## disable

特権コマンドをオフにするには、**disable** コマンドを使用します。

**disable**

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| コマンドモード | Privileged EXEC (#)       |
| コマンド履歴  | リリー 変更内容<br>ス             |
|         | 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。 |

**例**

次に、特権コマンドをオフにする例を示します。

```
cisco-ap# disable
```

## enable

特権コマンドをオンにするには、**enable** コマンドを使用します。

**enable**

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| コマンドモード | User EXEC (>)             |
| コマンド履歴  | リリー 変更内容<br>ス             |
|         | 8.1.111.0 このコマンドが導入されました。 |

**例**

次に、特権コマンドをオンにする例を示します。

```
cisco-ap> enable
```

## exec-timeout

exec-timeout を設定するには、**exec-timeout** コマンドを使用します。

**exec-timeout** *timeout-value*

**構文の説明**

*timeout-value* タイムアウト値。有効な値は0～2147483647

**コマンドモード**

Privileged EXEC (#)

**コマンド履歴**

リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

**例**

次に、exec-timeout を 20 秒に設定する例を示します。

```
cisco-ap# exec-timeout 20
```

## logging

コマンドのログを作成するには、**logging** コマンドを使用します。

**logging** {**console** [**disable**] | **host** {**clear** | **disable** | **enable**}}

**構文の説明**

**console** コンソール ロギング

**host** syslog サーバを設定する

**disable** syslog ホストのロギングを無効にする

**enable** syslog サーバを有効にする

**clear** syslog サーバ IP をクリアする

|         |  |
|---------|--|
| コマンドモード | Privileged EXEC (#)                        |
| コマンド履歴  | リリー 変更内容<br>ス<br>8.1.111.0 このコマンドが導入されました。 |

**例**

次に、コンソール ログイングを有効にする例を示します。

```
cisco-ap# logging console
```

## more

ファイルを表示するには、**more** コマンドを使用します。

**more** {**flash** | **syslog**} *file-name*

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 構文の説明 | <b>flash</b> フラッシュ ファイルにアクションを適用する   |
|       | <b>syslog</b> syslog ファイルにアクションを適用する |
|       | <i>name</i> ファイル名                    |

|         |  |
|---------|--|
| コマンドモード | Privileged EXEC (#)                        |
| コマンド履歴  | リリー 変更内容<br>ス<br>8.1.111.0 このコマンドが導入されました。 |

**例**

次に、**test-log** という名前の **syslog** ファイルを表示する例を示します。

```
cisco-ap# more syslog test-log
```

## reload

アクセスポイントを停止するには、または再起動を実行するには、**reload** コマンドを使用します。

**reload** [{**at** *hours minutes day-of-month year* | **cancel** | **in** 分 | **reason** *reason-string*}]

|       |  |
|-------|--|
| 構文の説明 | <p><b>at</b> 特定の日に AP をリロードする</p> <p>このキーワードは、時間、分、日付、月、年をパラメータとして取る。有効な値は次のとおり：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>hour</i> : 0 ~ 23</li> <li>• <i>minutes</i> : 0 ~ 59</li> <li>• <i>day-of-the-month</i> : 1 ~ 31</li> <li>• <i>month</i> : 1 ~ 12</li> <li>• <i>year</i> : 2015 ~ 2099</li> </ul> |
|       | <p><b>cancel</b> 中断しているリロードをキャンセルする</p>  |
|       | <p><b>in</b> 一定の間隔後にリロードする。この時間は分で指定する。有効な値は 1 ~ 1440分</p>   |
|       | <p><b>reason</b> リロードの理由を指定する文字列</p>   |

コマンドモード Privileged EXEC (#)

コマンド履歴 リリー 変更内容  
ス

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

### 例

次に、10 分後に AP をリロードする例を示します。

```
cisco-ap# reload in 10
```

## terminal

端末パラメータを設定するには、**terminal** コマンドを使用します。

**terminal** {**length** | **monitor** [**disable**] | **type** *word* | **width** *no-of-characters*}

|       |  |
|-------|--|
| 構文の説明 | <p><b>length</b> 画面上の行数を指定する。有効な値は 0 ~ 512。出力を一時停止しない場合は 0 を入力する</p>   |
|       | <p><b>monitor</b> デバッグの出力先を現在のターミナル回線に指定する。モニタリングを有効にするには Enter キーを押す。モニタリングを無効にするには、キーワード <b>disable</b> を入力する。</p> |
|       | <p><b>type</b> ターミナルのタイプを指定する</p>  |

---

**width** ディスプレイ ターミナルの幅を指定する。有効な値は 0 ~ 132

---

---

コマンドモード

Privileged EXEC (#)

---

コマンド履歴

---

リリー 変更内容  
ス

---

8.1.111.0 このコマンドが導入されました。

---

### 例

次に、ターミナルの行数を 50 に設定する例を示します。

```
cisco-ap# terminal length 50
```



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。